眼科を受診している患者さんへ

鹿児島大学病院眼科では，下記の研究を実施しています。この研究は，高岡市民病院倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され，研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は，対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく，研究内容の情報を公開し，研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく，個人情報の開示を希望される場合，研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は，以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は，他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	黄斑界面疾患の画像検査を用いた特徴と加療方法の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	高岡市民病院　病院長　福島亘
研究責任者	アイセンター（眼科）　診療科長　加藤剛
研究の対象となる方	2010 年 12 月から研究期間までの間に鹿児島大学病院眼科にて黄斑円孔、分層黄斑円孔と診断された症例で硝子体手術を受けたもの
研究期間	研究承認日　～　2035 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 黄斑界面疾患の B scan 画像や Enface 画像をもとに分類し臨床的特徴を調査することで、発症病態の考察を行い、分類ごとの加療方法を検討する。 〔利用方法〕 通常の診療で得られた画像やカルテ記録をもとにエクセルや EZR 等の統計ソフトを使用して視力や網膜微細構造の変化の解析を行います。研究内容の詳細及び具体的な研究計画に関しましては研究責任者までお問合せください。 〔外部への試料・情報の提供〕 資料・情報は個人が特定できないようにし、高岡市民病院へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究承認日より適宜
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報： 診療録(カルテ)から，年齢，性別，既往歴，視力，OCT画像,Enface 画像 治療内容，手術所見等を収集
提供する試料・情報を用いる機関外の研究責任者	高岡市民病院　アイセンター（眼科）　診療科長　加藤剛
試料・情報を利用する機関外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は，2035 年 12 月 31 日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。

場合	
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	鹿児島大学病院　眼科 担当者：船津　諒 〒892-8520　鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1 電話 099-275-5402（内線 5402）